

このマニュアルでは、基本的な操作手順を簡単に説明しています

STONE

コードレスパワーユニット

Bluetooth 機能付

警告

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。

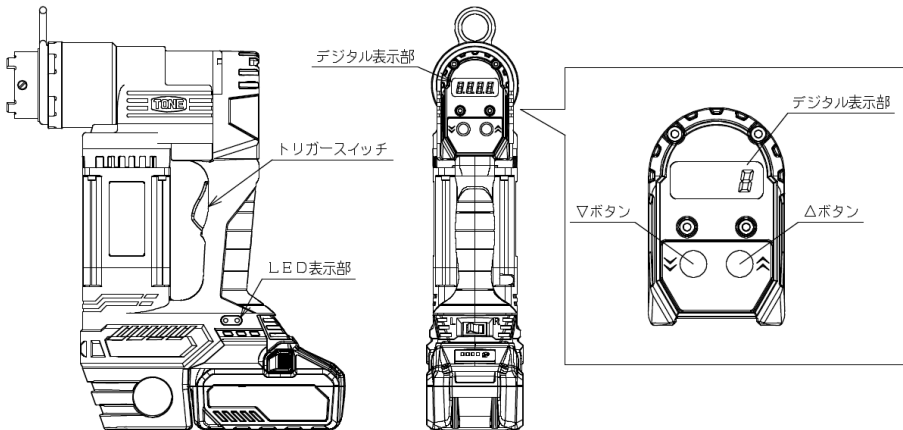
操作部と表示部

本製品には、

- ・トリガースイッチ
- ・LED 表示部
- ・デジタル表示部
- ・△ボタンと▽ボタン

があります。

これらを確認・操作し、設定の変更や、さまざまな機能を使用することができます。

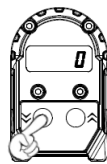


電源ONの確認

デジタル表示部に0または、前回締付けトルクが表示されていることを確認してください。何も表示されていない場合は、トリガースイッチを短時間だけ引くことで0が表示されます。

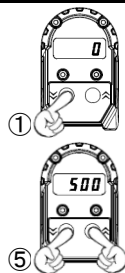
現在の設定トルクを確認する

- ① デジタル表示部に0または、前回締付けトルクが表示されていること
確認してください。何も表示されていない場合はトリガースイッチを短時間だけ
引くことで0が表示されます。
- ② ▽ボタンを押すと現在の設定トルクが表示されます。
設定トルクは一定時間点滅表示されます。
3秒後自動で0または前回の締付けトルクが表示され、締付け画面に戻ります。



設定トルクを変更する

- ① 締付け画面にて▽ボタンを3秒以上長押しします。
- ② 設定モードに入ると、SEt と表示され、現在の設定値が表示されます。
- ③ 現在の設定トルク表示中に▽ボタンを押すと、設定値が1回毎に1減ります。
▽ボタンを押し続けると、連続的に数値が小さくなります。
- ④ 現在の設定トルク表示中に△ボタンを押すと、設定値が1回毎に1増えます。
△ボタンを押し続けると、連続的に数値が大きくなります。
- ⑤ 設定トルクに合わせたら、▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上
押し続けると、設定トルクが決定し、GOOd と表示されます。
その後、0または前回の締付けトルクが表示され、締付け画面に戻ります。



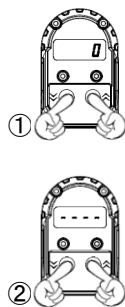
ゆるめモード設定

ゆるめ作業をしやすように、自動停止機能を無効化して作業できます。

- ① 締付け画面にて▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押すと、
表示部に--- と表示され、ゆるめモードになります。
ソケットをボルト/ナットに差し込んで、トリガースイッチを引いて
ゆるめ作業を行ってください。
- ② ゆるめ作業が完了した後、締付け作業をする場合は、
▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けて緩めモードを解除してください。
- ③ 解除後は、0または前回締付けトルクが表示され、締付け画面に戻ります。

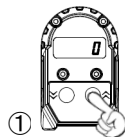
警告

ゆるめモードを解除せずに締付けを行った場合、
許容最大トルクを超えたことを異常検知するまでレンチは停止しません。
締付け作業を行う場合は、必ずゆるめモードを解除してください。



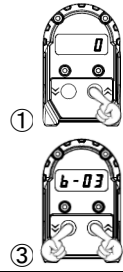
現在のタイヤカウントとボルトカウントを確認する

- ① 締付け画面にて△ボタンを押すと、E1 rE という表示の後、
タイヤカウントが「設定値: 現在値」で表示されます。
- ② つづいて、bOLT という表示の後、
ボルトカウントが「設定値: 現在値」で表示されます。
- ③ その後、0または前回の締付けトルクが表示され、締付け画面に戻ります。



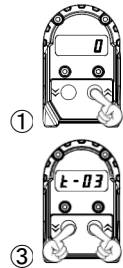
設定ボルトカウントを変更する

- ① 締付画面にて△ボタンを3秒以上長押しし、メニュー画面に入ります。
- ② メニュー画面に入り**bolt**と表示されましたら、▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けると、現在の設定ボルトカウントが表示されます。
- ③ ボルトカウントは、▽ボタンで減少し、△ボタンで増加します。
設定するボルトカウントに合わせたら、▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けると、設定ボルトカウントが決定し、**000**と表示されます。
- ④ その後、トリガースイッチを短時間だけ引くと、
0または前回の締付けトルクが表示され、締付け画面に戻ります。



設定タイヤカウントを変更する

- ① 締付画面にて△ボタンを3秒以上長押しし、メニュー画面に入ります。
- ② メニュー画面に入り**bolt**と表示されましたら、△ボタンを押し**tire**の表示にした後、▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けると、現在の設定タイヤカウントが表示されます。
- ③ タイヤカウントは、▽ボタンで減少し、△ボタンで増加します。
設定するタイヤカウントに合わせたら、▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けると、設定タイヤカウントが決定し、**000**と表示されます。
- ④ その後、トリガースイッチを短時間だけ引くと、
0または前回の締付けトルクが表示され、締付け画面に戻ります。



LED 表示

LED 表示

● : 消灯 (●) (●) (●) : 点灯 (●) (●) : 点滅

緑 LED: 無線接続状態

●	無線接続済
●	無線未接続




LED 表示

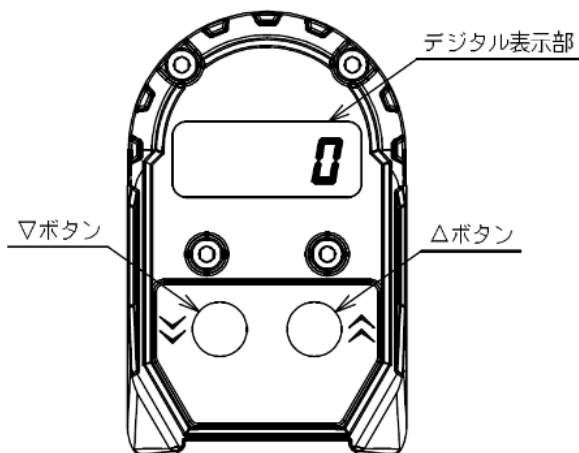
赤 LED: 記録/無線モード設定状態

●	ワンショットモード	締付けるたびに無線データ送信
●	ストックモード	あとでまとめて無線データ送信
●	オフモード	記録せず、無線データ送信もしない

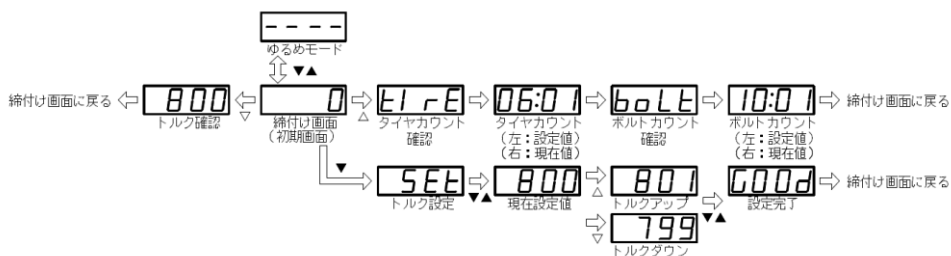
ボタン操作一覧

■ボタン操作により、デジタル表示部は下記の通りに切替わります
電源を入れるとまず、締付け画面  が表示されます。

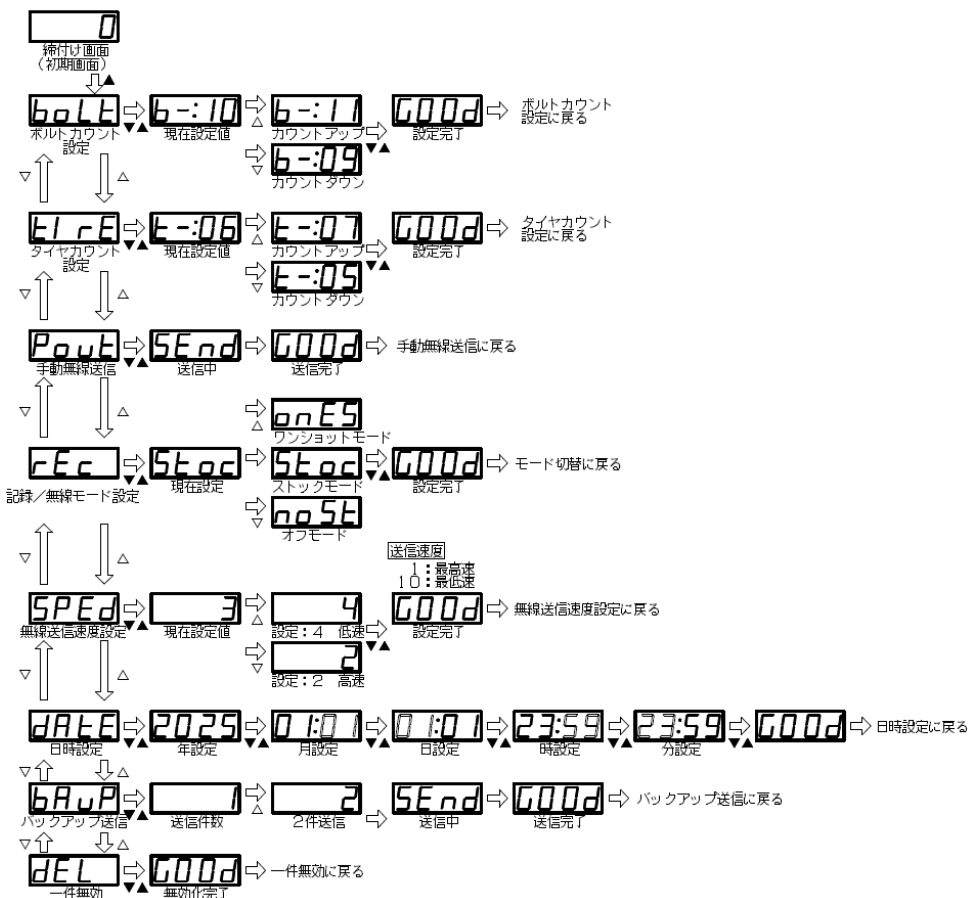
- ▽:▽ボタン単押し
- △:△ボタン単押し
- ▼:▽ボタン長押し
- ▲:△ボタン長押し
- ▼▲:▽ボタンと△ボタンを同時に長押し



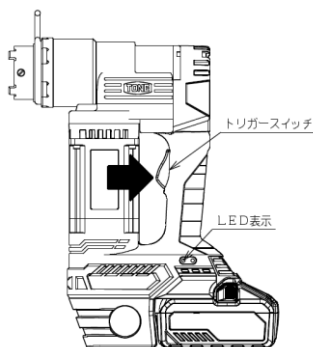
■トルク設定、トルク確認、ゆるめモード、タイヤカウント/ボルトカウント確認



■ボルトカウント設定、タイヤカウント設定、手動無線送信、記録/無線モード設定
無線送信速度設定、日時設定、バックアップ送信、一件無効



※トリガースイッチを短時間だけ引くことで、締付け画面にに戻れます。



メニュー画面詳細

- 締付画面にて、△ボタンを長押しするとメニュー画面に切替わります
 △ボタンや▽ボタンを押すことで、下表のように表示が切替わります。
 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押し、各種設定/操作を行います。

	表示部表示	設定名称	概要
締付画面		締付画面 (初期画面)	締付け完了後の画面です。 トリガースイッチを短時間だけ引くことで、すぐにこの画面に戻れます。
メニュー画面	↓△長押し 	ボルトカウント 設定	ボルトカウントの設定を変更します。
	↑▽ ↓△ 	タイヤカウント 設定	タイヤカウントの設定を変更します。
	↑▽ ↓△ 	手動 無線送信	ストックモードで記録したデータを無線で送信します。
	↑▽ ↓△ 	記録/無線 モード設定	モードを切替えます。 (ワンショット/ストック/オフモード)
	↑▽ ↓△ 	無線送信 速度設定	無線送信速度設定を変更します。
	↑▽ ↓△ 	日時設定	日時設定を変更します
	↑▽ ↓△ 	バックアップ 送信	内部に記録されたデータを指定件数だけ無線で送信します。
	↑▽ ↓△ 	1件無効	直前に締付けしたデータを1件だけ無効にします。
	↑▽ ↓△ ボルトカウント設定 へ戻る		

MEMO

無線接続

- 無線接続設定が済んでおれば、本製品の電源を入れ、受信機の電源と Bluetooth 機能をオンにすることで自動接続します。受信機のキー設定は「半角英数字」にしてご使用ください。本製品と受信機は必ず 1:1 で設定・接続してご使用ください。

はじめて使うとき

- はじめて使用する場合は、取扱説明書の「7.はじめて使うとき」を参照し、下表の順にセットアップすることを推奨します。

No.	内容	概要
1	無線接続設定	データ送信先の設定をします。
2	無線送信準備	データ送信先の準備をします。
3	記録/無線モード設定	データを記録するか、どのタイミングで無線送信するかを設定します。
4	日時設定	現在日時を設定します。
5	ボルトカウント設定	1 タイヤあたりのボルト本数を設定します。
6	タイヤカウント設定	1 車両あたりのタイヤ本数を設定します。
7	トルク設定	締付けトルクを設定します。
8	部品取付け	各部品を取付けます。

取扱説明書

- 本製品の詳しい操作説明は取扱説明書を確認してください。取扱説明書は二次元コードをスキャンして頂くか下記 URL からダウンロードできます。

<https://www.tonetool.co.jp/support/manual-search/>



- 予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。
- クイックマニュアルは、保管してください。



TONE **TONE ALPHA 株式会社**

〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号 Web Site: www.tone-alpha.co.jp
TEL (0721) 56-7025 FAX (0721) 56-7025 e-mail: info@tone-alpha.co.jp



製造元: **TONE** **TONE 株式会社**

TONE

Bluetooth®

要保管

コードレスパワーユニット

取扱説明書 INSTRUCTION MANUAL

型式:CTW80BW

警告

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。
- 日本国内での使用に限定させていただきますので、ご了承ください。
日本国外での使用につきましては、保証できません。
The models described on this instruction manual can only be used in Japan.
Cannot be used outside Japan.

この度は、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■まず、下記事項をご確認ください。

- 輸送途中で破損した箇所がないか。
- ねじ・ボルトに脱落・緩みがないか。
- 注文通りのものが入荷しているか。
- 付属品は、全部揃っているか。

万一、不具合な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお申し付けください。

■製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。

人身事故や故障を未然に防ぐ為にも、取扱説明書の内容を理解していただいた上で、ご使用ください。また、ご使用方法を熟知された方、すでにお読みになった方も、ご使用前には、今一度取扱説明書をお読みください。

お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお問い合わせください。

TONE株式会社

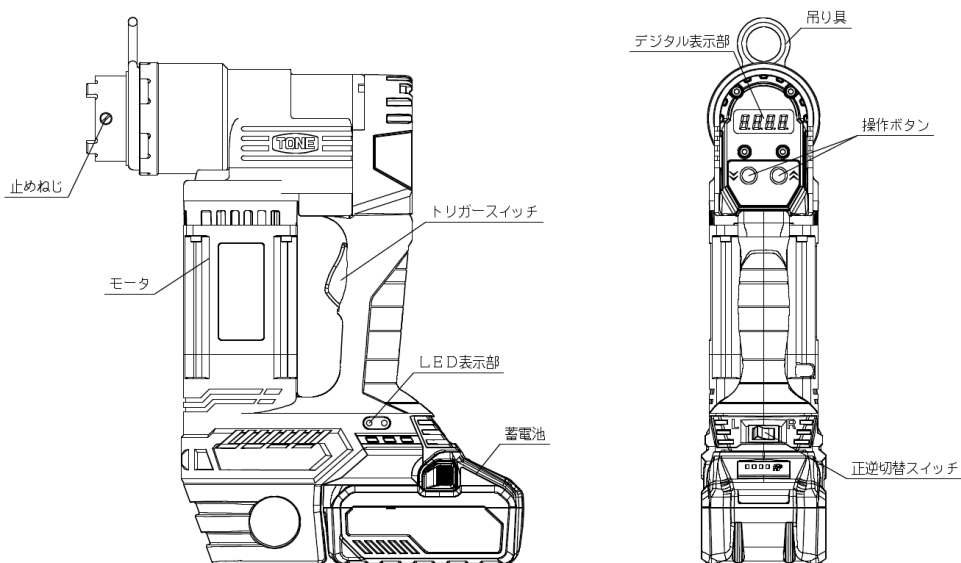
目次

1.用途	3
2.各部の名称	3
3.注意文について	4
4.ご使用上の注意事項	5
5.無線に関する注意事項	12
6.ご使用前に	13
7.はじめて使うとき	14
8-1.無線接続方法	15
8-2.無線送信準備	18
8-3.無線接続解除	19
9-1.記録/無線モードについて	20
9-2.記録/無線モード設定方法 rEE	21
10.日時設定 DATE	23
11-1.タイヤカウントとボルトカウントについて	24
11-2.ボルトカウント設定方法 boLE	25
11-3.タイヤカウント設定方法 ELrE	26
12.トルク設定	27
13.トルク確認	28
14.タイヤカウント/ボルトカウント確認	28
15-1.部品の交換方法 - 出カユニットの取付け・取外し -	29
15-2.部品の交換方法 - ソケットの取付け・取外し -	30
15-3.部品の交換方法 - 蓄電池の取付け・取外し -	32
16.締付け操作	33
17.ゆるめ操作 ----	36
18.メニュー画面について	38
19.手動無線送信(ストックモード) POuE	41
20.無線送信速度設定 SPEd	42
21.バックアップ送信 bRuP	43
22.一件無効 dEL	44
23.記録/無線送信するデータについて	45
24.蓄電池の電池残量について	46
25.連続作業について	46
26.蓄電池の保管について	47
27.自動電源 OFF 機能/表示機能/エラー表示	48
28.保守点検	51
29.仕様	52
30.アフターサービス	53

1.用途

- トルク制御締結を目的とするコードレスパワーユニットであり、特に車両のホイールナット締付けに特化した製品です。
- 本製品はデータ記録機能と、その記録したデータを無線で送信する機能を搭載しています。
- 本製品は Bluetooth HOGPプロファイル(キーボードインターフェース)を搭載しており、Windows/iOS機器と通信し、標準アプリ(メモ帳、Excel等)へのデータ入力や、帳簿電子化システムとの連携が可能です。

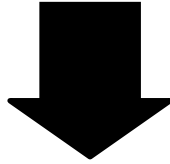
2.各部の名称

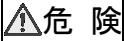
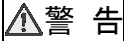



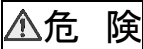

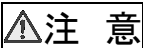
- 付属品およびオプションなどについての詳細、その他不明な点につきましては、お買い求めの販売店へお問い合わせください

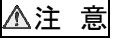
3.注意文について

注意文の    の意味について



■ご使用上の注意事項は    に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

	誤った取り扱いをしたときに、 使用者が死亡または重傷を負う危険が 切迫して生じることが、想定される内容のご注意。
	誤った取り扱いをしたときに、 使用者が死亡または重傷を負う可能性が 想定される内容のご注意。
	誤った取り扱いをしたときに、 使用者が傷害を負う可能性が想定される 内容および物的損害の発生が 予想される内容のご注意。

なお、 に区分した事項でも、
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、守ってください。

4.ご使用上の注意事項

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「注意事項」を守ってください。
- ご使用される前に、この「注意事項」をお読みいただき、指示に従って正しくご使用ください。

⚠危険

●高所作業での感電に注意してください。

○高所での感電は、転落・落下事故を引き起こし、大変危険です。

●作業中は反力受に手や指、および足などを近づけないでください。

○反力受が当たる箇所に手や指、および足などがいないか確認し作業してください。

○反力受はボルト／ナットの回転方向に対し、逆の方向に回転します。ご注意ください。

手・指・足のけがの原因になります。

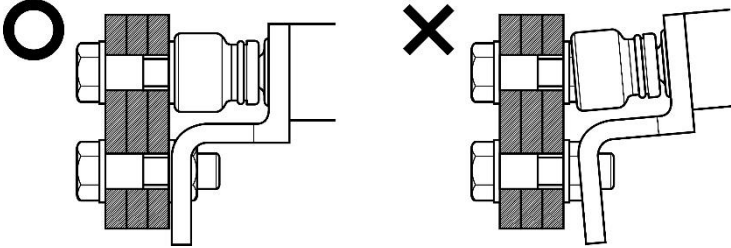


⚠ 警告

●反力受は、安定した箇所に正しくあててください。

- 反力受は、隣接のボルト／ナットまたは部材に正しくあててください。
- 万一、傷つきやすい箇所しかない場合は緩衝板（鉄板など）で保護し安定させてから作業してください。また、緩衝板は滑って飛ばないように、確実に固定してください。

事故・けがの原因になります。



⚠ 警告

●使用中は、レンチ本体を両手で確実に保持してください。

- レンチは、締付けが完了すると自動的に停止します。自動停止直前に反力が大きくなりますので、両手で確実に保持してください。けがの原因になります。

●アタッチメント類を使用しないでください。

- レンチの出力角ドライブとソケットとの間にアタッチメント類（エクステンションバー、ジョイント、アダプタ）を接続しないでください。作業中レンチが倒れ込んだり、アタッチメント類が破損するなどによるけがの原因になります。

●反力受は固くて（変形しない）丈夫な部材にあててください。

- 反力受をあてる部材は出力トルクとほぼ同じ負荷を受けますので、固くて変形しない箇所を選んでください。破損・事故・故障・精度不良の原因となります。

●ソケットおよび反力受は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

取り付けが不完全であると、事故・けがの原因になります。

警告

●感電に注意してください。

- 雨中や雪中、および濡れた所や湿った所では、使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電・火災・漏電の原因になります。

●ガソリン・ガス・シンナー・ベンジンなど引火性危険物がある場所では、使用しないでください。

爆発・火災の原因になります。

●高所作業での、落下事故に注意してください。

- 安全帯を着用してください。
- 落下物による危険防止のため、作業場にはネットや帆布などによる安全策を講じてください。
- 作業場の下に、人がいないことを確認し作業してください。
- 心身の疲れを感じた場合は作業をしないでください。
転落・落下事故の原因になります。

●無理に使用しないでください。

- 能力範囲内で使用してください。
能力範囲を超える使用や、本来の目的以外の使用は
損傷をまねくばかりだけでなく、事故・けがの原因になります。

●不意な始動は避けてください。

- トリガースイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。
- 電源プラグを差し込む前や、蓄電池を差し込む前に、
トリガースイッチが切れていることを確認してください。
誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。

●次の場合は、電源プラグを電源から抜くか、蓄電池をレンチから外してください。

- 使用しない場合
- 付属品などを交換する場合
- 点検・整備を行う場合
- その他、危険が予想される場合
不意に起動し、けがの原因になります。

●電源は、銘板表示の電圧で使用してください。

火災・やけど・破損・けがの原因になります。

警告

●分解・改造をしないでください。

- 分解や改造は、感電・火災・故障・けがの原因になります。
- ただし、消耗品は必要に応じて交換してください。

●使用しない場合は、所定の場所に保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に鍵を掛けて保管してください。
故障および、誤操作・事故の原因になります。
- レンチや蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏場の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙・発火の恐れがあります。
- 結露対策として氷点下になりやすい環境での長時間放置は避け、極力あたたかな屋内に保管してください。
事故・故障・精度不良・感電・火災・漏電の原因になります。

●運転中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

- お買い求めの販売店までご連絡ください。
感電・火災・けがの原因になります。

●修理は、お買い求めの販売店までお申し付けください。

- 修理知識および技術力のない方が修理されますと、性能を発揮できないだけでなく、事故・けがの原因になります。

●ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。

- 部品に変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。
異常がある場合は、使用しないでください。
感電・火災・やけど・けがの原因になります。

●落としたり、ぶついたりしたときは、異常がないか点検してください。

- 変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。
異常がある場合は、使用しないでください。
感電・火災・やけど・けがの原因になります。

●作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- レンチ・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電などの原因になります。

●部品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- 取り付けが不完全であると、事故・けがの原因になります。

警告

●指定の蓄電池および充電器を使用してください。

○改造した蓄電池(分解してセルなどの内蔵部品を交換した蓄電池を含む)を使用しないでください。

レンチの性能や安全性等を損なう恐れがあり、
けがや故障・発煙・発熱・発火・破裂などの原因になります。

●蓄電池および充電器の取扱説明書をお読みにになり、十分に内容を理解してからご使用ください。

●作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

○レンチ・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。

感電などの原因になります。

●レンチ、およびレンチ端子部(蓄電池取付部)、および蓄電池端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。

蓄電池を取り付けた場合に短絡(ショート)して、
発煙・発熱・発火・破裂などの原因になります。

●レンチ端子部(蓄電池取付部)、および蓄電池端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

○使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。

○作業中にレンチに付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。

○使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所にレンチおよび蓄電池を放置しないでください。

短絡(ショート)して、発煙・発熱・発火・破裂の原因になります。

●異臭・発熱・変色・変形・破損(クラックを含む)、

その他異常がないことを、使用前・使用中・使用後に

確認ください。異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 注意

●作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台で使用しないでください。
事故の原因になります。

●子供を近づけないでください。

- 作業者以外にレンチやコードに触れさせないでください。
- 作業者以外を作業場に近づけないでください。

●作業する場所の安全を確認してください。

- 常に足場をかため、身体の安定を保って作業してください。
- コードを物に巻き付けないでください。
- コードで足を引っかけないよう、注意して作業してください。
- 作業場は、明るくしてください。

●作業に適した機種選定をしてください。

- 用途以外に使用しないでください。

●作業に適した服装で作業をしてください。

- 屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物をご使用ください。
- 作業現場に入る時は、ヘルメット・帽子などを正しく着用してください。

●付属品は、当社純正品をご使用ください。

- 弊社カタログに記載されている付属品の交換は、当社純正品をご使用ください。
事故・故障の原因になります。

●モータの通風を良くしてください。

- モータの通風口に異物を差し込まないでください。
- モータの通風口を物で覆わないでください。

●念入りに手入れをしてください。

- 使用の際は、握り部および握り手を常に乾いた状態に保ち、油・グリスなどが付かないようにしてください。

●騒音に関する法・条例を守ってください。

- 各都道府県の条例で定める工場・事業所で使用する場合は、周辺に迷惑をかけないよう、各条例で定める騒音規制値以下で
ご使用ください。必要に応じて、遮音壁を設けてください。

⚠ 注意

- 気温が低い状態でご使用になられる場合は、ご使用の前に蓄電池の温度を常温に戻し、使用直前まで常温環境下に保管しておいてください。
- 蓄電池が低温の場合、通常使用時と比べて性能が低下し、目標トルクまで締付けできないなどの可能性があります。

○蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店、または弊社営業所までご持参ください。



○使用できる蓄電池

新しい蓄電池は、工機ホールディングス株式会社製をご使用ください。
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

5.無線に関する注意事項

警告

●周波数干渉と電磁ノイズ

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発信を停止し、パーテーションの設置などの混信回避処置を実施してください。

●分解、改造の禁止

- 本製品は、工事設計認証を受けている無線設備を使用した製品です。認証を受けている装置を分解、改造することは法律で禁止されています。感電、火災、けが、故障の原因になります。

●使用できる地域

- 本製品を使用できる国は、認証取得をしている国のみとなります。日本国以外の認証取得国については弊社営業所へお問い合わせください。

●誤作動の発生

- 本製品が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本製品の電源を切ってください。
 - ・病院内や電車内の優先席付近
 - ・航空機内など引火性ガスの発生する場所
 - ・自動ドアや火災報知機の近く

●情報の漏洩

- Bluetooth機能の利用時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●接続

- 本製品はすべての機器との無線接続を保証するものではありません。接続する機器は、Bluetooth SIGの定める標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続する機器が上記標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

6.ご使用前に

警告

- 下記の事項はご使用になられる前に確認してください。
けがの原因になります。

○レンチの点検

レンチ／部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか点検してください。
異常がある場合は、使用しないでください。

○電源の確認

銘板に表示してある電源でご使用ください。

○ソケットの選択

締付けるボルト／ナットのサイズに応じたソケットをご用意ください。

○部品の装着

部品は、レンチに確実に取付けてください。
取付けた後は、部品が本体から外れないことを確認してください。

○暖機運転

精度のよい締付けを行うために、
作業前に 5 分程度の無負荷暖機運転を行ってください。

○各モード設定の確認

ゆるめモードで使用する場合は、P36 を参照してください。
無線機能やデータ記録機能を使用して締付けする場合は、
P20 を参照し、記録/無線モード設定を行ってください。
出荷時の記録/無線モード設定は「オフモード」です。

○日時設定の確認

P23 を参照し日時設定を行ってください。
出荷時には日時設定が行われていません。

7.はじめて使うとき

■本製品をはじめて使うときは、下記の流れでセットアップすることを推奨します。

No.	内容	概要	関連ページ
1	無線接続 設定	データ送信先との 無線接続設定をします。	P15
2	無線送信準備	データ送信先の 無線受信準備をします。	P18
3	記録/無線モード 設定	データを記録するか、 どのタイミングで無線送信するかを 設定します。	P20 P21
4	日時設定	現在日時を設定します。	P23
5	ボルトカウント 設定	1 タイヤあたりのボルト本数を 設定します。	P24 P25
6	タイヤカウント 設定	1 車両あたりのタイヤ本数を 設定します。	P24 P26
7	トルク設定	締付けトルクを設定します。	P27
8	部品取付け	各部品を取付けます。 ・出力ユニット ・ソケット ・蓄電池	P29

※No.1 及び No.3～7 は一度設定すれば、本製品の電源を落としても最後の設定が保存されており、使用するたびに再設定する必要はありません。
変更したい場合はいつでも再設定が可能です。

8-1.無線接続方法

■Windows PC を例に設定方法を説明します。
その他 iOS 等でも同様の方法で設定できます。

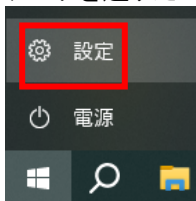
■一度無線接続設定を行えば、
P19「無線接続解除」で示すペアリング解除をしない限り、
次回以降は本製品の電源を入れ、
受信機の Bluetooth 機能をオンにするだけで無線接続されます。

⚠ 注意

●本製品と受信機は必ず 1:1 で使用してください。
受信機によっては複数台の本製品を同時接続できますが、
同時に無線送信した場合に、データが正しく受信されません。

■下記手順に従い無線接続を行ってください。

1. データを送りたい機器(ノート PC 等)の設定画面を開きます。



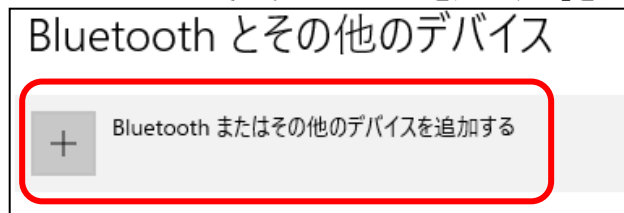
2. 「デバイス」をクリックします。



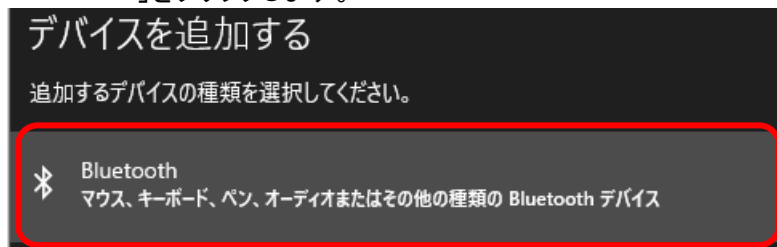
3. Bluetoothをオンにします。



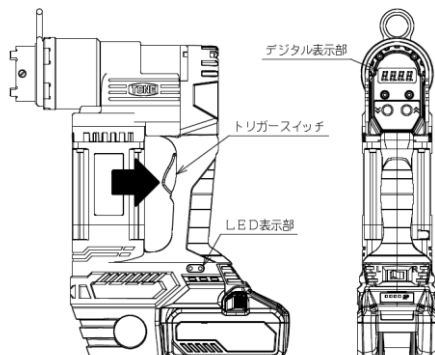
4. 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。



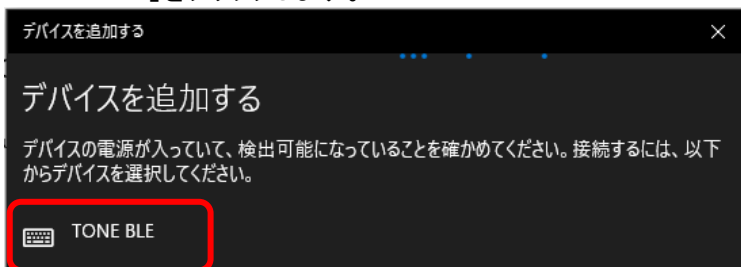
5. 「Bluetooth」をクリックします。



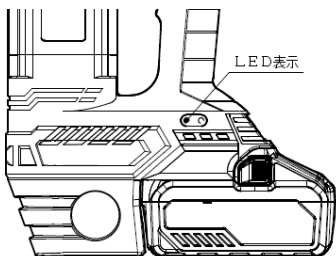
6. レンチ本体のトリガースイッチを短時間だけ引き、デジタル表示部を点灯させます。



7. 「TONE BLE」をクリックします。



8. 右下の完了ボタンを押し、「接続済み」と表示されれば設定完了です。
レンチ本体側面の緑LEDが点灯します。



9. 無線接続完了です。

8-2.無線送信準備

■はじめに


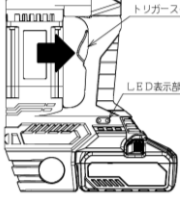

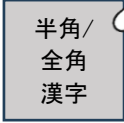
締付け前に無線送信準備が必要になるモードは、「ワンショットモード」のみです。

「ストックモード」では、締付け前に無線送信準備は不要であり、後で手動無線送信する際には、無線送信準備をしてください。

※なお、締付け前に無線送信準備しても問題ありませんが、無線送信を実行する前には受信機がスリープ状態になっていないことを確認してください。

「オフモード」では、データは記録されませんので、無線送信準備は不要です。

■方法

1. 受信機の電源を入れます。	
2. 受信機の Bluetooth 機能をオンにします。	
3. 本製品の電源を入れ、緑の LED が点灯していることを確認します。 ※点灯していない場合、P15 を参照し、無線接続を行います。	
4. 受信機を操作し、データを入力する場所をクリックします。	
5. 受信機のキー設定を、「半角英数字」に設定します。	 「あ」→「A」
6. 準備完了です。	

8-3.無線接続解除

■Bluetoothをオフにする方法と、ペアリング解除する方法の2通りがあります。

1. P15「無線接続方法の 1～2」を参考に、
データを送りたい機器(ノート PC 等)の設定画面からデバイスを開きます。
2. 下記 2 通りの方法がございます。

①Bluetooth をオフにして無線解除する場合

「Bluetooth」を「オフ」にします。

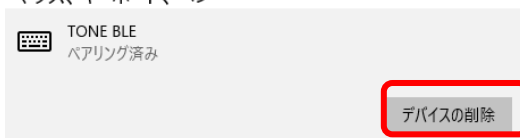


※この方法は、一時的に無線機能を使用しない場合にご使用ください。
Bluetooth を「オン」に切替えることで再度無線接続できます。

②ペアリング解除して無線解除する場合

「接続済み」か「ペアリング済み」の「TONE BLE」をクリックし、
「デバイスの削除」をクリックします。

マウス、キーボード、ペン



※この方法は、しばらくその受信機とは無線接続しない場合にご使用ください。
Bluetooth を「オン」にしても接続されず、P15 の無線接続設定を行わない限り
無線接続されません。

3. 無線解除完了です。

9-1.記録/無線モードについて

■本製品には記録と無線送信の方法について下記3つのモードがあり、お客様にていつでも切替が可能です。

①ワンショットモード `onES`

締付けが完了するたびに、製品本体に締付けデータを記録します。
記録されたデータを、締付けごとに受信機へ無線送信します。

※ワンショットモードでは、

無線接続されていなければ、トリガースイッチを引いてもモータは始動せず、
締付けが行えません。P15を参照し、無線接続を行ってください。

②ストックモード `StoC`

締付けが完了するたびに、製品本体に締付けデータを記録します。
記録されたデータを一括して受信機へ無線送信します。

③オフモード `noSE`

締付けしても、一切データを記録せず、無線送信もしません。
出荷時はこのモードに設定されています。

■本製品は、記録/無線モードをいつでも切替できます。

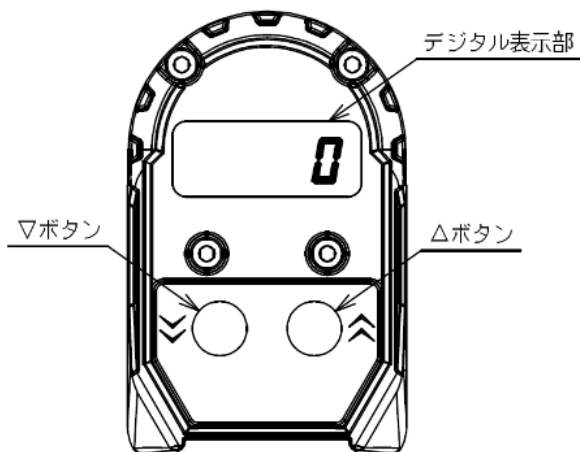
記録/無線モードの設定方法については、P21をご確認ください。

9-2.記録/無線モード設定方法 REC


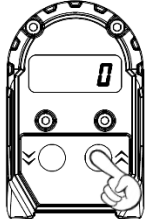
■本製品は、記録/無線モードをいつでも切替できます。

■操作ボタンについて

各設定や各操作はデジタル表示部を確認しながら、
2つの操作ボタン「▽ボタン」と「△ボタン」を使用して設定・操作します。



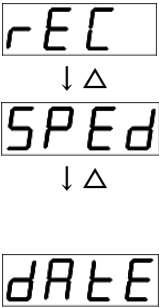



■記録/無線モード設定手順

1. トリガースイッチを短時間だけ引き、 デジタル表示部を点灯させます。	 <p>トリガースイッチ</p>
2. △ボタンを長押しし、メニュー画面を開きます。	

<p>3. メニュー画面では、まず、bolL と表示されます。 △ボタン 3 回を押すことで、 rEL に表示が切替わります。</p>	<p>bolL ↓△ tlrE ↓△ PouL ↓△ rEL</p>
<p>4. rEL に表示が切り替わった後、 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しして、 設定画面に移動します。</p>	<p>rEL ↓△と▽を長押し</p>
<p>5. 設定画面では、現在の設定が表示されます。 △ボタンや▽ボタンで表示が切替わります。</p> <p>onES で、ワンショットモードが有効 StoL で、ストックモードが有効 noSt で、オフモードが有効 となります。</p> <p>※記録/無線モードの種類と違いについては、 P20 をご確認ください。</p>	<p>onES ワンショットモード ↓△ ↑▽ StoL ストックモード ↓△ ↑▽ noSt オフモード</p>
<p>6. ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 設定が決定され、GOOD と表示されます。 その後、rEL 表示に戻ります。</p> <p>記録/無線モード設定完了です。</p>	<p>onES ↓△と▽を長押し GOOD ↓ rEL</p>

10.日時設定 DATE

■記録/無線モード設定に続いて、日時設定を行います。

<p>1. <small>REC</small>と表示されています。 △ボタン 2 回を押すことで、 <small>DATE</small>に表示が切替わります。</p> <p>※デジタル表示部に <small>---</small> または、 前回締付けトルクが表示されている場合、 △ボタンを長押しすることで <small>DATE</small>に表示が切替わり、その後△ボタンや▽ボタンを 数回押すと、<small>DATE</small>に表示が切替わります。</p>	
<p>2. <small>DATE</small> に表示が切り替わった後、 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 日時設定画面に進みます。</p>	
<p>3. 設定は、 「年」→「月」→「日」→「時」→「分」の順で行います。</p> <p>設定中の項目は点滅表示されます。</p> <p>各設定項目は ▽ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ小さくなり、 △ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ大きくなります。 ボタンを押し続けると連続的に数値が大きくなります。</p> <p>▽ボタンと△ボタンを同時に長押しして 設定を決定します。</p>	
<p>4. 分設定にて▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 設定が決定され、<small>GOOD</small> と表示されます。 その後、<small>DATE</small> 表示に戻ります。</p> <p>日時設定完了です。</p>	

11-1.タイヤカウントとボルトカウントについて

■本製品にはポカヨケ機能として、

「タイヤカウント機能」と「ボルトカウント機能」があります。

タイヤカウントとは、「作業する車両 1 台で締付けるタイヤの合計数」を、

ボルトカウントとは、「1 つのタイヤについて締付けるボルト本数」を指します。

例えば、10 穴ボルトナットのタイヤを 4 個締付けする際には
タイヤカウント設定を「4」、ボルトカウント設定を「10」と設定します。

上記の例の場合、4 つ目のタイヤの最後のボルトを締付け、
つまり、合計 40 本の締付けをすると、タイヤカウント: 4、ボルトカウント: 10 となり、
無線で「END」と送信されます。

これは、1 台の車両についてすべてのボルトの締付けが完了したことを表します。

日付	日時	回転方向	トルク	タイヤカウント	ボルトカウント	全体回数	エラー	備考	グループ番号
2026/1/1				4	6	36			1
2026/1/2				4	7	37			1
2026/1/3				4	8	38			1
2026/1/4				4	9	39			1
2026/1/5				4	10	40		END	1

その後、さらにもう 1 本ボルトを締付けると各カウントがリセットされ、
タイヤカウント: 1、ボルトカウント: 1 と送信されます。

これは、同じ設定で 2 台目の車両の締付けを開始したことを表します。

日付	日時	回転方向	トルク	タイヤカウント	ボルトカウント	全体回数	エラー	備考	グループ番号
2026/1/1				4	6	36			1
2026/1/2				4	7	37			1
2026/1/3				4	8	38			1
2026/1/4				4	9	39			1
2026/1/5				4	10	40		END	1
2026/1/6				1	1	1			2

このまま各カウントが進んでも各カウント設定はリセットされておりませんので、
同じく 40 本のボルトを締付けすると、再度「END」と送信されます。

※途中でボルトカウント設定または、タイヤカウント設定を設定すると
各カウントはリセットされます。

※各カウントは、回転方向 L/R を区別せずにカウントアップします。

11-2.ボルトカウント設定方法 bolt

- 日時設定に続いて、ボルトカウント設定を行います。
ボルトカウントの意味については、P24 をご確認ください。

<p>1. DATEと表示されています。 △ボタン 3 回を押すことで、 boltに表示が切替わります。</p> <p>※デジタル表示部に --- または、 前回締付けトルクが表示されている場合、 △ボタンを長押しすることで boltに表示が切替わります。</p>	<div style="text-align: center;"> DATE ↓△ bAuP ↓△ dEL ↓△ bolt </div>
<p>2. bolt に表示が切り替わった後、 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 ボルトカウント設定画面に進みます。</p>	<div style="text-align: center;"> bolt ↓△と▽を長押し b-:03 </div>
<p>3. ボルトカウントは ▽ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ小さくなり、 △ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ大きくなります。 ボタンを押し続けると連続的に数値が大きくなります。</p> <p>※ボルトカウントは[0~99]の範囲で設定できます。</p>	<div style="text-align: center;"> b-:03 ↓▽ ↑△ b-:02 </div>
<p>4. ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 ボルトカウント設定が決定されます。 決定すると、GOOD と表示され、 bolt 表示に戻ります。</p> <p>ボルトカウント設定完了です。</p>	<div style="text-align: center;"> b-:04 ↓△と▽を長押し GOOD ↓ bolt </div>

※ボルトカウントを設定すると、
ボルトカウントとタイヤカウントがリセットされます。

※ボルトカウントを 0 に設定すると、「ボルトカウント」、「タイヤカウント」、
「締付け本数」のデータがすべて「-」と記録/送信されます。

11-3.タイヤカウント設定方法 E l r E









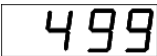




- ボルトカウント設定に続いて、タイヤカウント設定を行います。
 タイヤカウントの意味については、P24 をご確認ください。

<p>1. b o l t と表示されています。 △ボタン 1 回を押すことで、 E l r E に表示が切替わります。</p> <p>※デジタル表示部に □ □ または、 前回締付けトルクが表示されている場合、 △ボタンを長押しすることで b o l t に表示が切替わります。</p>	<div style="text-align: center;">b o l t</div> <p style="text-align: center;">↓△</p> <div style="text-align: center;">E l r E</div>
<p>2. E l r E に表示が切り替わった後、 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 ボルトカウント設定画面に進みます。</p>	<div style="text-align: center;">E l r E</div> <p style="text-align: center;">↓△と▽を長押し</p> <div style="text-align: center;">t -: 03</div>
<p>3. タイヤカウントは ▽ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ小さくなり、 △ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ大きくなります。 ボタンを押し続けると連続的に数値が大きくなります。</p> <p>※タイヤカウントは[1~99]の範囲で設定できます。</p>	<div style="text-align: center;">t -: 03</div> <p style="text-align: center;">↓▽ ↑△</p> <div style="text-align: center;">t -: 02</div>
<p>4. ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 タイヤカウント設定が決定されます。 決定すると、G O O d と表示され、 E l r E 表示に戻ります。</p> <p>タイヤカウント設定完了です。 トリガースイッチを短時間だけ引くと、 締付画面に戻ります。</p>	<div style="text-align: center;">t -: 04</div> <p style="text-align: center;">↓△と▽を長押し</p> <div style="text-align: center;">G O O d</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="text-align: center;">E l r E</div>

- ※タイヤカウントを設定すると、
 ボルトカウントとタイヤカウントがリセットされます。

12.トルク設定

■トルク設定を行います。

<p>1. 表示部に  と表示されていることを確認します。 表示されていない場合、 トリガースイッチを短時間だけ引くことで、  に表示が切替わります。</p>	
<p>2.  に表示が切替わった後、 ▽ボタンを長押しします。 SEt と表示されたあと、 現在設定トルクが表示されます。</p>	 ↓▽を長押し  ↓ 
<p>3. 設定トルクは ▽ボタンを押すと1回毎に1ずつ小さくなり、 △ボタンを押すと1回毎に1ずつ大きくなります。 ボタンを押し続けると連続的に数値が大きくなります。</p>	 ↓▽ ↑△ 
<p>4. 設定トルクに合わせたら、 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 設定トルクが決定されます。 決定すると、 と表示されます。 その後、自動で締付画面に戻ります。</p> <p>トルク設定完了です。</p>	 ↓△と▽を長押し  ↓ 

※トルク設定を設定しても、
ボルトカウントとタイヤカウントはリセットされません。

13.トルク確認

■設定したトルクを確認する機能です。

1. 締付画面にて
▽ボタンを押すと
「設定トルク」が表示されます。

例えば、締付けトルクが 500Nm に
設定されている場合、
500 と表示されます。

その後、自動で締付画面に戻ります。

↓▽ボタン

↓

14.タイヤカウント/ボルトカウント確認

■設定したタイヤカウントとボルトカウントと、それぞれの現在カウント数を
表示する機能です。

1. 締付画面にて
△ボタンを押すと、E1 r E と表示後、
「タイヤカウント設定とタイヤカウント」が表示されます。

04:01 という表示について、左の数字が設定を、
右の数字が現在カウント数を表しています。
この例では、タイヤカウント設定が 4、
タイヤカウントが 1 です。

↓△ボタン

↓

↓

2. 続いて、b o L t と表示後、
「ボルトカウント設定とボルトカウント」が表示されます。

04:01 という表示について、左の数字が設定数を、
右の数字が現在カウント数を表しています。
この例では、ボルトカウント設定が 4、
ボルトカウントが 1 です。

その後、自動で締付画面に戻ります。

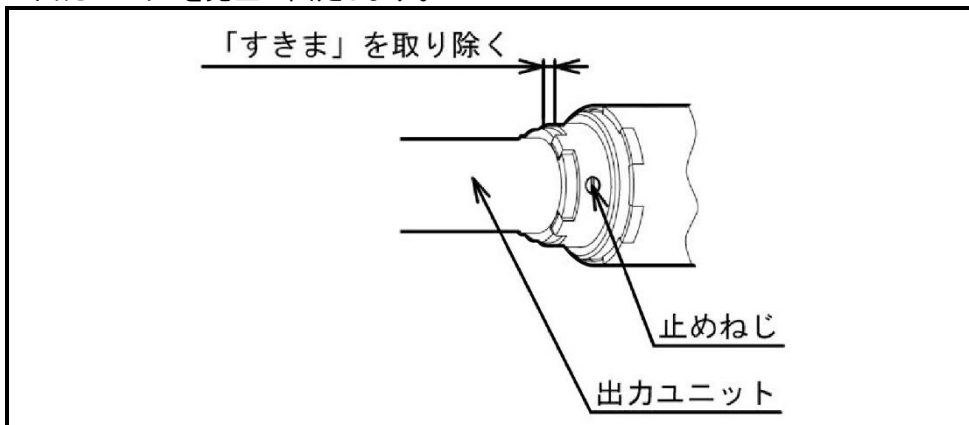
↓

↓

15-1.部品の交換方法 - 出力ユニットの取付け・取外し -

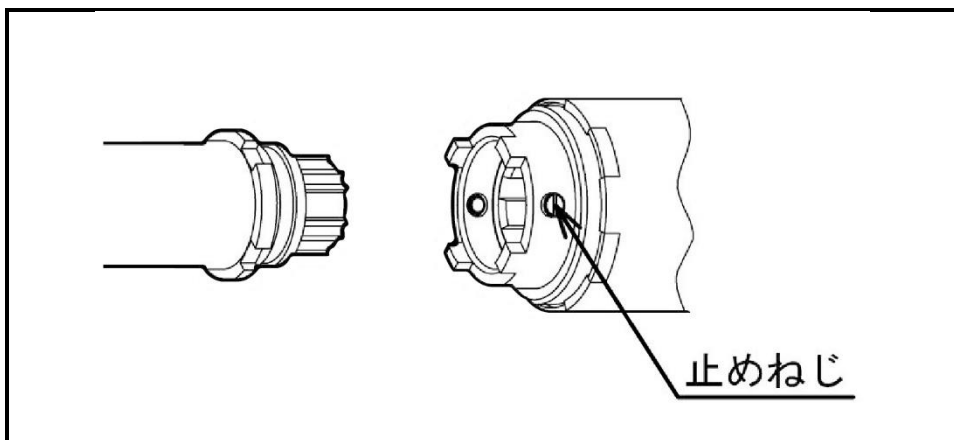
■取付け方法

1. 出力ユニットの凸凹部を、レンチ本体の凸凹部に差し込みます。
2. 出力ユニットとレンチ本体の結合部に「すきま」がなくなったことを確認し、
(-)ドライバー等で2ヶ所の止めねじを締付け、
出力ユニットを完全に固定します。



■取外し方法

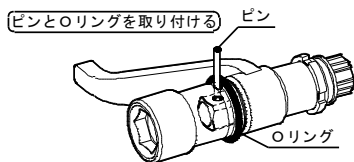
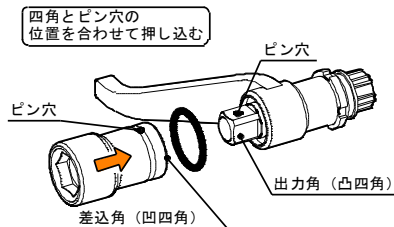
1. (-)ドライバー等でレンチ本体の2ヶ所の止めねじを緩め、
出力ユニットを外します。
…止めねじは、完全に抜けるまで緩めますと紛失する恐れがありますので、ご注意ください。



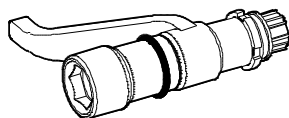
15-2.部品の交換方法 - ソケットの取付け・取外し -

■取付け方法

1. 「Oリング」をソケットに装着します。
2. 出力ユニットの出力角(凸四角)とソケットの差込角(凹四角)およびピン穴の位置を合わせて、ソケットを装着します。
3. ソケットのピン穴にソケットに付属する「ピン」を装着します。
4. ソケットの溝部にソケットに付属する「Oリング」を装着します。
5. 「Oリング」がしっかりと装着されていることを確認し、この状態でソケットが出力ユニットから外れないことを確認してください。



Oリングがしっかりと取り付けられていることを確認



⚠ 警告

●ソケットは弊社指定のソケットをご使用ください。

指定以外のソケットをご使用になりますと、反力受の位置が合わず締付け不良・ボルト／ナットの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。

●ソケットに割れ・欠け・摩耗・変形がないか確認してください。

ソケットが破損した場合、けがの原因になります。

●Oリングの著しい変形およびピンに曲がり・折れ・ヒビや割れがないか確認してください。

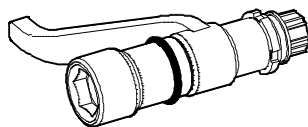
ピン・Oリングは消耗品です。異常がある場合は新品に取り替えてください。ソケットの落下およびピンの飛び出しによるけがの原因になります。

●ソケット装着後、確実に装着されているかを、ソケットを引っ張って確認してください。

確実に装着されていない場合、使用中にソケットが外れて落下し、危険です。また、ソケットの耐久力低下や、レンチの故障およびけがの原因になります。

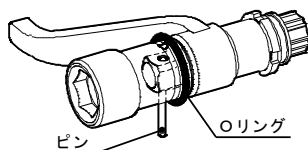
■取外し方法

1. ソケット外周部に装着されている「Oリング」をソケットの溝部から外します。



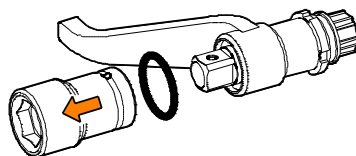
2. 出力ユニットとソケットに挿入されている「ピン」を外します。

Oリングとピンを外す



3. ソケットを出力ユニットから引き抜きます。

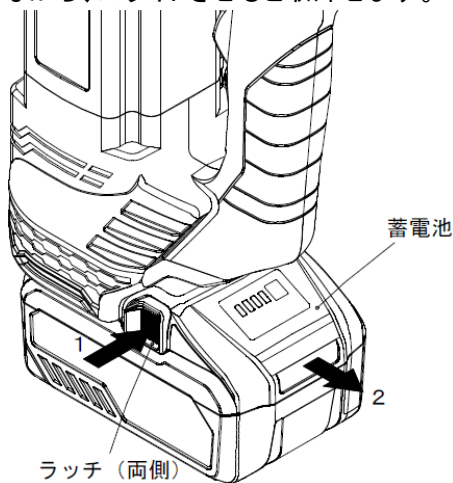
ソケットを引き抜く



15-3.部品の交換方法 - 蓄電池の取付け・取外し -

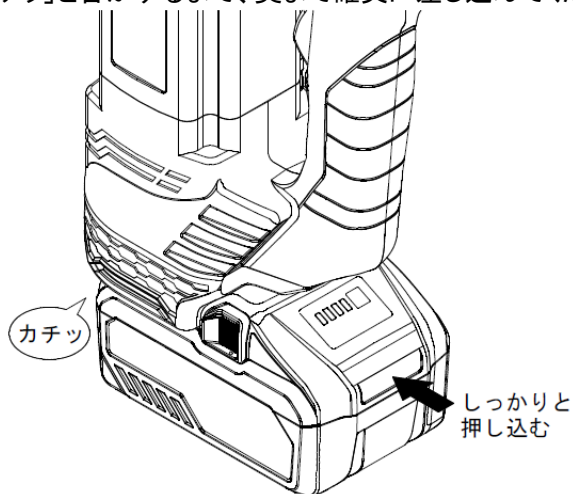
■取外し方法

蓄電池をレンチ本体から取外すときは、
両側のラッチを押しながら、スライドさせると取外せます。



■取付け方法

蓄電池をレンチ本体に取付けるときは逆の要領で、
レンチ本体の溝に合わせ、奥まで差し込んでください。
この際に、「カチッ」と音がするまで、奥まで確実に差し込んでください。



16. 締付け操作



⚠ 注意


●5分程度の無負荷暖機運転を行ってからご使用ください。

- 精度のよい締付けを行うために行ってください。
- 気温が10℃以下の低温状態では、レンチが起動後すぐに停止してしまいます。

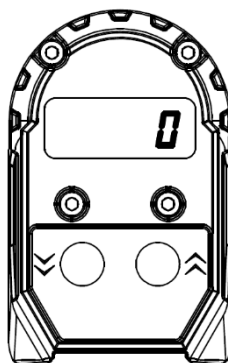
■ワンショットモード設定時には、締付け操作を行う前に

- 無線接続が済んでいるか
 - キーボード設定が半角英数字になっているか
 - データ出力したい場所を選択(クリック)しているか
- をご確認ください。設定方法の詳細は P15 と P18 をご確認ください。

1. デジタル表示部に  または、
前回締付けトルクが表示されていることを
確認してください。
何も表示されていない場合は、トリガースイ
ッチを短時間だけ引くことでデジタル表示部が
起動し、 が表示されます。

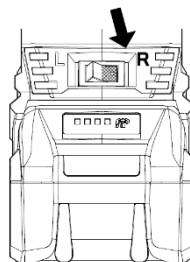
※デジタル表示部に、 が表示されている
場合は、ゆるめモードになっていますので、
P36 を参照しゆるめモードを
解除してください。

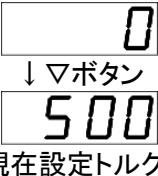
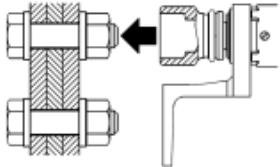
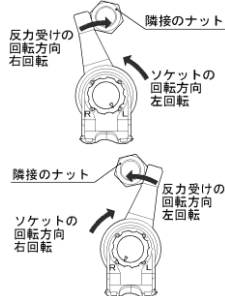
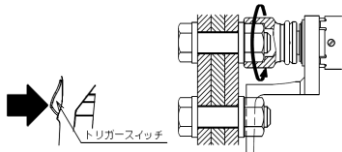
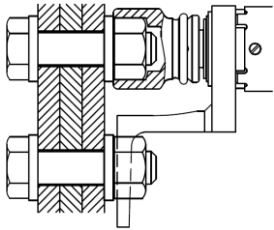
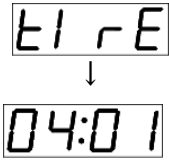
※ゆるめモードで締付けを行うと
オーバートルクの原因になりますので
ご注意ください。

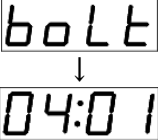


2. 正逆切替スイッチを
ボルト/ナット(ソケット)の
締付け回転方向(右回転「R」)に
切替えてください。

※逆ねじを締付ける場合は、
(左回転「L」)が
「締付け」になりますのでご注意ください。



<p>3. ▽ボタンを押して現在の設定トルクを確認してください。 設定トルクは一定時間点滅表示されます。</p>	
<p>4. ソケットをボルト／ナットに完全に差し込んでください。</p>	
<p>5. 反力受を隣接のナットにきっちりとあて、ソケットを締付けるナットの奥まで完全に差し込んでください。</p> <p>※反力受はレンチ起動時にナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業をしてください。</p>	
<p>6. トリガースイッチを引いて起動してください。ソケットが回転し、ボルト／ナットを締付け始めます。</p> <p>※反力受による指詰めにご注意ください。</p>	
<p>7. 締付けが進み、設定されたトルクに達するとレンチは自動で停止します。正常に締付けが完了すればデジタル表示部に締付けトルクを表示します。</p> <p>※締付け途中でトリガースイッチを離すと正常な締付けは行われません。</p>	
<p>8. つづいてデジタル表示部には、タイヤカウムの設定と現在値が表示されます。 04:01 という表示について、左の数字が設定数を、右の数字が現在カウント数を表しています。この例では、タイヤカウム設定が4、タイヤカウムが1です。</p>	

<p>9. つづいてデジタル表示部には、ボルトカウン トの設定と現在値が表示されます。 表示の見方はタイヤカウントと同じです。 その後、締付け画面に戻ります。</p>	
<p>10. ワンショットモードに設定している場合 このタイミングにて無線送信が 行われます。</p> <p>ストックモードに設定している場合は、 無線送信したいタイミングで、 P41を参照し、手動無線送信を 行ってください。</p>	

⚠ 危 険

- 反力受に手や指、および足などを
近づけないでください。

手・指・足の切断事故の原因になります。



⚠ 注 意

- 「右回転」「左回転」の切替操作やトルク設定は、モータ停止の
状態で行ってください。

けが・事故・故障の原因になります。

- 作業のときは、「右回転」「左回転」を間違えないよう、切替スイッチ
の位置を再確認してください。

- 1度締付けたボルト／ナットの2度締め(増し締め)はしないで
ください。

ボルト／ナットの破損およびレンチの故障・けがの原因になります。

- ゆるめモードでの締付けはしないでください。

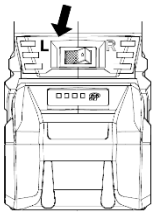

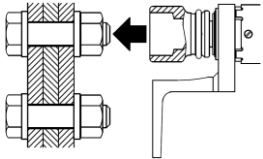
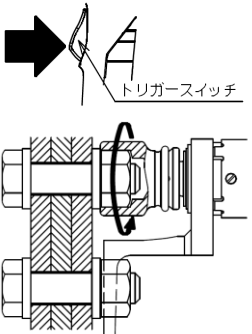
オーバートルクになりボルト／ナットの破損
およびレンチの故障・けがの原因になります。

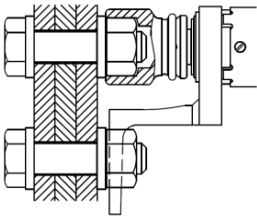
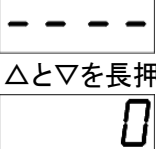
- 反力受は、安定した箇所に正しくあててください。

締付不良・ボルト／ナットの破損・けがの原因となります。

17.ゆるめ操作 -----

■ゆるめ作業がしやすいように、自動停止機能を無効化して作業できます。

<p>1. 正逆切替スイッチをボルト/ナット(ソケット)のゆるめ回転方向(左回転「L」)に切替えてください。</p> <p>※逆ねじをゆるめる場合は、(右回転「R」)が「ゆるめ」になりますのでご注意ください。</p>	
<p>2. 締付画面で▽ボタンと△ボタンを同時に長押しします。すると、----- という表示に切替わり自動停止機能が無効化された状態になります。</p>	
<p>3. ソケットをボルト/ナットに完全に差し込んでください。</p> <p>※反力受はレンチ起動時にボルト/ナットの回転方向に対し、逆の方向に回転しますので隣接のボルトまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。</p>	
<p>4. トリガースイッチを引いて起動してください。ソケットが回転し、ボルト/ナットをゆるめ始めます。</p> <p>※反力受による指詰めにご注意ください。</p>	

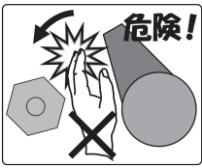
<p>5. ボルト/ナットがゆるめば、トリガースイッチから手を離してレンチを停止してください。</p> <p>※レンチの許容最大トルクを超えるような、ゆるめ作業が行われた場合は、Er.0E の表示が出て異常停止します。このような場合は、インパクトレンチなどを用いてゆるめてください。</p> <p>※Er.0Eの表示を解除するには、 △ボタンか▽ボタンのどちらかを 1秒以上押し続けてください。 解除するまでその他の操作は受け付けません。</p>	
<p>6. その後、締付け作業を行う場合は▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けて、ゆるめモードを解除してください。解除後は、前回の締付けトルクが表示されます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>-----</p> <p>↓ △と▽を長押し</p>  </div>

※ゆるめモードを解除せずに締付けを行った場合、許容最大トルクを超えたことを異常検出するまでレンチは停止しません。締付け作業を行う場合は、必ずゆるめモードを解除してください。

⚠ 危険

●反力受に手や指、および足などを近づけないでください。

手・指・足の切断事故の原因になります。



⚠ 注意

●作業のときは、「右回転」「左回転」を間違えないよう、切替スイッチの位置を再確認してください。

●反力受は、安定した箇所に正しくあててください。

締付不良・ボルト／ナットの破損・けがの原因となります。

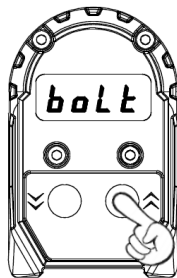
18.メニュー画面について

- 締付画面にて△ボタンを3秒以上押すことで、「メニュー画面」を呼び出し、各カウントの設定や手動無線送信などを行うことができます。

メニュー画面の呼び出し

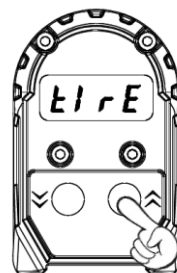
1. デジタル表示部に0または、
前回締付けトルクが表示されていることを
確認してください。
△ボタンを3秒以上押し続けると、
boLtと表示され
「メニュー画面」に切替わります。

※表示部に□と表示されていない場合、
トリガースイッチを短時間だけ引くことで、
□に表示が切替わります。

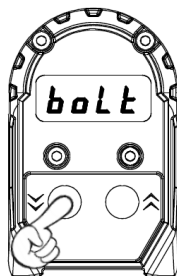


メニューの選択と実行

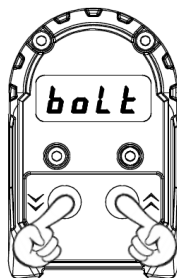
1. △ボタンを押すと、
次のメニューが表示されます。



2. ▽ボタンを押すと
前のメニューが表示されます。



- ▽ボタンと△ボタンを同時に3秒以上押し続けると、表示中のメニューが実行されます。



メニュー画面の解除

- 「メニュー画面」でトリガースイッチを短時間だけ引くと、「締付画面」に切替わります。



- 締付画面にて、△ボタンを長押しするとメニュー画面に切替わります
 △ボタンや▽ボタンを押すことで、下表のように表示が切替わります。
 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押し、各種設定/操作を行います。

	表示部表示	設定名称	概要
締付画面		締付画面 (初期画面)	締付け完了後の画面です。 トリガースイッチを短時間だけ引くことで、すぐにこの画面に戻れます。
メニュー画面	↓△長押し 	ボルトカウント 設定	ボルトカウントの設定を変更します。
	↑▽ ↓△ 	タイヤカウント 設定	タイヤカウントの設定を変更します。
	↑▽ ↓△ 	手動 無線送信	ストックモードで記録したデータを無線で送信します。
	↑▽ ↓△ 	記録/無線 モード設定	モードを切替えます。 (ワンショット/ストック/オフモード)
	↑▽ ↓△ 	無線送信 速度設定	無線送信速度設定を変更します。
	↑▽ ↓△ 	日時設定	日時設定を変更します
	↑▽ ↓△ 	バックアップ 送信	内部に記録されたデータを指定件数だけ無線で送信します。
	↑▽ ↓△ 	1件無効	直前に締付けしたデータを1件だけ無効にします。
	↑▽ ↓△ ボルトカウント設定 へ戻る		

19. 手動無線送信(ストックモード) *PouT*

■ストックモードで締付けた記録のうち、未送信のデータを送信する機能です。

無線送信操作を行う前に

- 無線接続が済んでいるか
- キーボード設定が半角英数字になっているか
- データ出力したい場所を選択(クリック)しているか

をご確認ください。設定方法の詳細は P15 と P18 をご確認ください。

1. 初期画面にて

△ボタンを長押ししてメニュー画面に入り、
ボタンを操作し、*PouT* と表示します。
この状態で、▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると
ストックモードで締付けた未送信データが
無線送信されます。

送信中は *SEnd* と表示され、
送信を終えると、*GOOD* と表示後、
PouT 表示に戻ります。

※初期画面に戻る場合は、
トリガースイッチを短時間だけ引いてください。

PouT

↓△と▽を長押し

SEnd

↓

GOOD

↓

PouT

※無線送信中は蓄電池を取外さないでください。

※ワンショットモードで締付けた記録は送信されません。

※ストックモードで締付け後、無線送信を行わずに

ワンショットモードに切替えて締付けると、この機能を使用して無線送信しても
ストックモード時の締付けデータが送信されません。

ワンショットモードに切り替える前に無線送信を行うか、

P43 を参照し、バックアップ送信により無線送信してください。

※無線送信は、送信先機器と無線送信可能状態でないと使用できません。










無線送信可能状態であるかは、レンチ側面の緑ランプが点灯しているかを
ご確認ください。点灯しておれば送信可能です。

消灯している場合、P15 を参照し無線接続設定を行ってください。

20.無線送信速度設定 *SPEd*

■無線送信の送信速度を変更する機能です。

文字が連続して入力される、文字が欠落するなど無線送信に問題が生じた際、本設定を変更することで改善する場合があります。








<p>1. 締付画面にて △ボタンを長押ししてメニュー画面に入り、 ボタンを操作し、<i>SPEd</i> と表示します。 この状態で、▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 設定画面に進みます。</p>	 <p>↓△と▽を長押し</p> 
<p>2. 設定画面では、 送信速度を 10 段階から選択し決定します。</p> <p>▽ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ小さくなり、 △ボタンを押すと 1 回毎に 1 ずつ大きくなります。 ボタンを押し続けると、連続的に数値が大きくなります。</p> <p>送信速度は 1 が一番速く、10 が一番遅いです。</p>	 <p>↓▽ボタン</p>   <p>↓△ボタン</p> 
<p>3. ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると、 送信速度が決定されます。 決定すると、<i>GOOD</i> と表示され、 <i>SPEd</i> 表示に戻ります。</p> <p>※締付画面に戻る場合は、 トリガースイッチを短時間だけ引いてください。</p>	 <p>↓△と▽を長押し</p>  <p>↓</p> 

21.バックアップ送信 bRUP

- 一度無線送信したデータを再度無線送信する機能です。
無線送信に失敗した場合や、データを紛失した場合にご使用ください。

■無線送信操作を行う前に

- 無線接続が済んでいるか
 - キーボード設定が半角英数字になっているか
 - データ出力したい場所を選択(クリック)しているか
- をご確認ください。設定方法の詳細は P15 と P18 をご確認ください。

<p>1. 締付画面にて △ボタンを長押ししてメニュー画面に入り、 ボタンを操作し、bRUP と表示します。 この状態で、▽ボタンと△ボタンを 同時に長押しすると、 バックアップ送信画面に進みます。</p>	 ↓ △と▽を長押し
<p>2. 送信画面では、 最新からさかのぼって送信するデータ数を 設定します。 ▽ボタンを押すと1回毎に1ずつ小さくなり、 △ボタンを押すと1回毎に1ずつ大きくなります。 ボタンを押し続けると連続的に数値が大きくなります。 ▽ボタンと△ボタンを同時に長押しして 送信するデータ数を決定します。</p>	 ↓ △ボタン  ↑▽ ↓△  ↓ △と▽を長押し
<p>3. 送信中はSEnd と表示され、 送信を終えると、GOOD と表示後、 bRUP 表示に戻ります。 ※締付画面に戻る場合は、 トリガースイッチを短時間だけ引いてください。</p>	 ↓  ↓ 

※無線送信中は蓄電池を取外さないでください。

- ※レンチ本体には、最大 1,000 件までデータを記録できます。
1,000 件を越えると、古いデータから順に上書きされます。

22.一件無効 dEL

- 直前に締付けし記録したデータを無効にする機能です。
間違えて締付けし、そのデータを無効にしたい場合にご使用ください。

1. 締付画面にて

△ボタンを長押ししてメニュー画面に入り、
ボタンを操作し、dELと表示します。
この状態で、▽ボタンと△ボタンを同時に長押しすると
直前に記録したデータを無効にします。
処理を終えると、GOODと表示後、dEL表示に
戻ります。

※締付画面に戻る場合は、
トリガースイッチを短時間だけ引いてください。

dEL

↓△と▽を長押し

GOOD

↓

dEL

※記録の無効を行った場合、直前のカウントも無効にします。

※無効にできなかった場合、noE→dELと順に表示されます。

※以下の条件では無効にできません。

- ・データがない場合
- ・カウント設定を変更した時
- ・すでに実行済みの場合

※一件無効を行うと、手動無線送信や、バックアップ送信にて、
そのデータが送信されません。

※ワンショットモードにて一件無効を行うと、
本製品内ではデータが無効化されますが、
無線送信先にすでに送信され表示されているデータは無効化されません。
送信先のデータは手動で無効化や削除をお願いします。

23.記録/無線送信するデータについて

■記録/無線送信するデータは、
 締付け日時、締付けトルク、締付け方向、タイヤカウント、ボルトカウント、
 締付け本数、エラー有無、備考です。

■データの送信順と、送信例は下表の通りです。

送信順	1	2	3	4	5	6	7	8	9
データ	締付け 日	締付け 時刻	締付け 方向	締付け トルク	タイヤ カウント	ボルト カウント	締付け 本数	エラー 有無	備考
送信例 1	2026/ 1/1	12:30	R	500	1	6	6		
送信例 2	2026/ 1/1	12:31	L	500	1	7	7		END
送信例 3	2026/ 12/31	1:1	R	300	-	-	-	ERR1	

※締付け方向について、
 右回転で締付けされれば「R」、
 左回転で締付けされれば「L」と送信されます。

※各データの間では、「TAB キー」が送信されます。
 送信例 1) 「2026/1/1」→「TAB キー」→「12:30」→→「TAB キー」→…

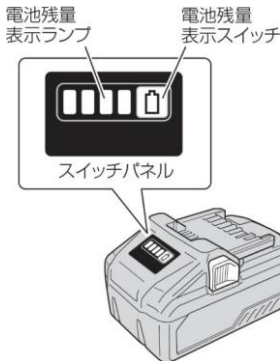
※データ終端のあと、「ENTER キー」が送信されます。
 送信例 3) 「ERR1」→「TAB キー」→「 」→「ENTER キー」→「2026/1/2」→…

※送信順 1～9 のデータで 1 まとめの送信データとなっており、
 例えば送信例 1 と送信例 2 のデータを続けて送信する場合、
 送信例 1 の 9 番目「備考」の後に、「ENTER キー」を送信し、
 続いて送信例 2 の 1 番目「締付け日」が送信されます。

※「ボルトカウント」が「0」に設定されている場合や、エラーが発生した場合、
 「タイヤカウント」、「ボルトカウント」、「締付け本数」はすべて「-」と送信されます。

24.蓄電池の電池残量について

- 電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。
- 電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。
- 電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。
- トルク制御、角度制御している機種は電池残量ランプ点灯が2個以下で、精度保持のため出力停止します。また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態	電池残量	
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止*1
		故障のため出力停止*2

※1: 蓄電池をレンチ本体より取り出し、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますのでお買い求めの販売店、または弊社営業所にご相談ください。

25.連続作業について

- 本機はモータおよびモータの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。連続的に作業を行うと、レンチ本体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際はレンチ本体を十分に冷却してください。温度が下がれば再び使用することができます。また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時にレンチ本体を15分程度休ませてから使用してください。

26.蓄電池の保管について

警告

- 蓄電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。
 - 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
 - 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池はレンチ本体に差し込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注意

- 蓄電池を保管するときは、満充電にして保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3ヶ月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2~5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

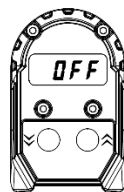
27.自動電源OFF機能/表示機能/エラー表示

■自動電源 OFF 機能

本製品には、一定時間操作が行われないと自動で電源を切る機能があります。

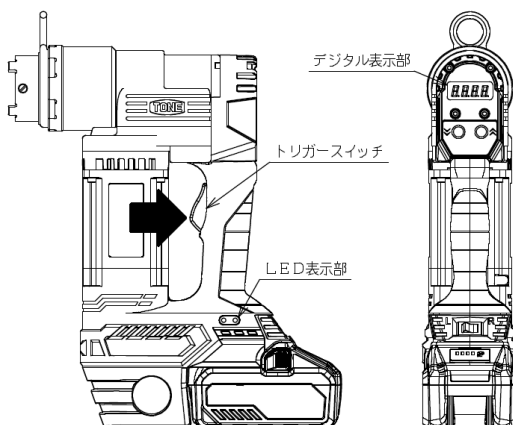
1. 操作を行わない状態が約 10 分間続くと

OFFが点滅し始め、
点滅開始から約 10 後
電源を自動で切ります。



■本製品には、「デジタル表示部」と、「LED 表示部」の 2 つの表示部があります。

本製品のトリガースイッチを短時間引くと 2 つの表示部が点灯します。



1. デジタル表示部

締付けトルクや、各種設定、エラーなどが表示されます。

各種設定はこの表示を確認しながら行います。

■無線未接続

デジタル表示	意味	対処
	無線接続されていません。 ワンショットモードの締付けの場合、 レンチは起動後すぐに停止します。 手動無線送信やバックアップ送信の 場合、無線送信を中断します。	P15を参照し無線接続設定を 行ってください。

■対象データなし

デジタル表示	意味	対処
<p>no</p> <p>↓</p> <p>DATA</p>	<p>送信対象のデータがありません。 例えば手動無線送信を実施後、再度手動無線送信をしようとした。</p> <p>※手動無線送信はストックモードでの締付けデータのうち未送信データのみを送信します。 一度無線送信したデータを再度無線送信したい場合は、P43を参照し、バックアップ送信を実行してください。</p>	<p>締付けを行ってから手動無線送信を実行してください。</p> <p>バックアップ送信を実行してください。</p>
<p>not</p> <p>↓</p> <p>DEL</p>	<p>無効対象のデータがありません。 例えば一件無効を実施後、すぐに再度一件無効をしようとした。</p> <p>※一件無効は直前の締付データを1件だけ無効にする機能です。操作を2度行って、2件のデータを続けて無効にすることはできません。</p>	<p>締付けを行ってから一件無効を1回だけ実行してください。</p>




■蓄電池残容量不足

デジタル表示	意味	対処
<p>bAtt</p> <p>↓</p> <p>Lo</p>	<p>充電容量が不足しています。 …レンチは起動後すぐに停止します。</p>	<p>充電された蓄電池に交換してください。</p>

■自動電源OFF

デジタル表示	意味	対処
<p>OFF</p>	<p>10分間操作がなかったため、「自動電源OFF機能」(P48)により電源を自動で切ります。</p>	<p>正常です。</p>

■異常検出

デジタル表示	意味	対処
	設定トルクに達しませんでした。 締付け途中でトリガースイッチから 手が離された可能性があります。	締付け途中で トリガースイッチから 手を離さないでください。
	ゆるめられる トルク値を超えました。	レンチの許容能最大トルクを 超えていますので、 作業を中止してください。 エラー解除するには、 △ボタンか▽ボタンのどちらか を1秒以上押してください。
	レンチ本体に 故障が発生しています。	修理が必要です。 作業を中止し、お買い求めの 販売店、または弊社営業所に ご相談ください。

2. LED 表示部

設定状態に応じて LED 表示が点灯・点滅・消灯します。

緑 LED は無線接続状態を

赤 LED は記録/無線モード設定状態を表します。

● : 消灯 ●^緑 : 点灯 ●^赤 : 点灯 ☆ : 点滅

LED 色	LED 表示	内容
緑	● ^緑	無線接続済
	●	無線未接続
赤	● ^赤	ワンショットモード
	☆ ^赤	ストックモード
	●	オフモード

28.保守点検



●保守点検を行うとき、使用後は、トリガースイッチを切り、
蓄電池をレンチ本体から取外してください。

不意に起動し、感電・けがの原因になります。

- ソケット部およびソケットとレンチの取付け部周辺は、
異物(ほこりなど)が混入し易い箇所ですので、
定期的に取り外して清掃してください。
- 汚れを拭き取る場合は、乾いたウエスで拭いてください。
ベンジン・シンナー・ガソリンなどの有機溶剤で拭かないでください。
ひび割れや変色の原因になります。
- モータ内部には、油・有機溶剤など、異物が入らないよう注意してください。
- 作業終了後は、メタルケースに入れて乾燥した場所に保管してください。
- 6ヶ月、または3万本使用毎を目安にオーバーホール(有償)を受けてください。
なお、オーバーホールにつきましては、お買い求めの販売店、
または弊社営業所までお申し付けください。

29.仕様

■本体

型式	CTW80BW
常用最大トルク	800 N・m
トルク制御範囲	300～800 N・m
締付精度	±5% (社内条件による)
無負荷回転数	17 min ⁻¹
本体質量	6.0 kg (ソケット・出カユニットを除くBSL 36B18装着時)
モータ	ブラシレスDCモータ
電源	マルチボルトタイプ蓄電池 (HiKOKI社製のマルチボルト蓄電池のみ使用可能)
騒音	音圧レベル:83 dB(A)
振動	振動レベル:< 2.5 (m/s ²)
保存データ 送信データ	日時(年月日時分)、締付け方向(R/L)、締付けトルク(Nm)、 タイヤカウント、ボルトカウント、締付け本数、エラー有無
最大保存件数	1,000件 (1,000件以上は古いデータから上書き保存)
通信規格	Bluetooth Low Energy Ver5.0
周波数	2.4GHz帯
対応機器	Bluetooth5.0に適合し、HOGPプロファイルに対応した端末 (ノートPC、タブレット、スマートフォン等)
通信距離	見通し約10m (電波環境や通信接続相手の性能等により変化します。)

※締付精度とは、設定値に対する締付けトルクのバラツキを
%で表したものです。

1満充電あたり(4.0Ah)の締付本数の目安
約220本 ※社内条件による締付時

30.アフターサービス

- 取扱説明書・電動レンチ本体・付属品などに記載されている

警告ラベル などの注意書に従って正しくご使用ください。

- アフターサービスについての詳細につきましては、

お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。

尚、お問い合わせの際には、

型式・製造番号・購入年月日・電圧・故障状況などを詳しくご報告ください。

注意

- 精度不良、および故障などによって

重大な損害が生じると予想される場合は、使用しないでください。

事前に予備機などの代替手段を用意してください。

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- WindowsとExcel は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IOSは、Apple Inc.のOS名称です。IOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用しています。
- 予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。
変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。
- 取扱説明書は、保管してください。
- Specifications may be changed without notice.
Modification of instruction manual will be substituted for the notice.
- Please have custody of instruction manual.

TONE 株式会社

〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号
TEL (0721) 56-1850 FAX (0721) 56-1851

Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: ko-eigy@tonetool.co.jp



TONE CO., LTD.

6-25, KOTOBUKICHO, KAWACHINAGANO-SHI, OSAKA 586-0026, JAPAN

Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: overseas@tonetool.co.jp



IMK1140